

環農水研育成品種「虹の雫（品種名ポンタ）」の特性

食と農の研究部 葡萄グループ

■多様な果皮色

「虹の雫」は栽培方法や収穫時期によって果皮色が異なることが特徴です。二重無加温栽培では収穫時期は6月下旬～7月下旬になり、そのときの果皮色は黄色系～赤色系～濃い赤色系になります。雨よけ栽培では収穫時期は8月上旬～8月下旬となり、そのときの果皮色は緑色系～黄色系～薄ピンク系～赤色系になります。

二重無加温栽培（収穫時期：6月下旬～7月下旬）

雨よけ栽培（収穫時期：8月上旬～8月下旬）

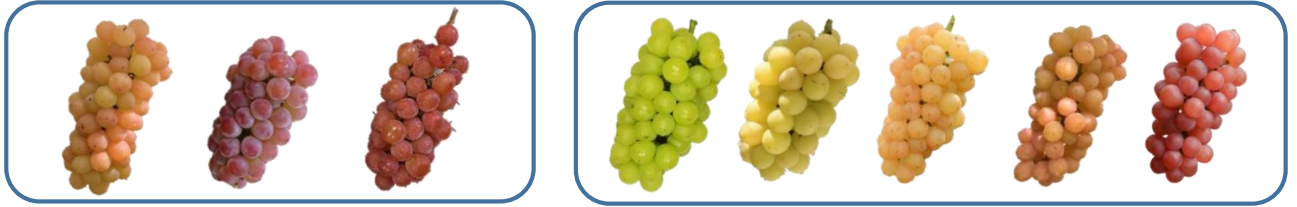


図1 作型別の「虹の雫」の果皮色

■果皮色の变化と糖度

果皮色と甘さの関係を調べました。雨よけ栽培という作型で7月後半の緑色の時期から経時的に糖度の測定を実施しました。

その結果、7月25日以降に糖度は高まり20度程度で推移したことから、「虹の雫」はどの果皮色でも大変甘いことが明らかになりました。

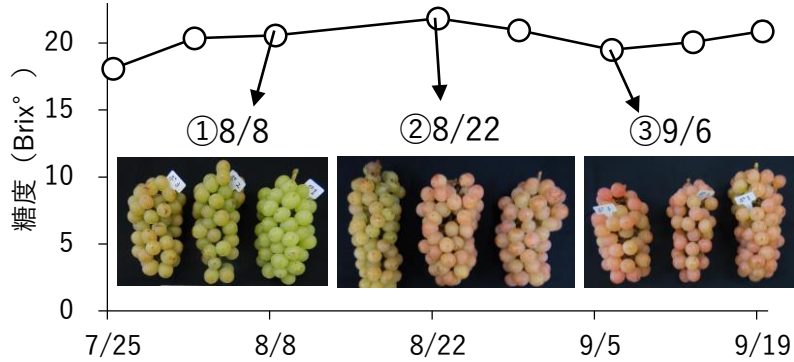


図2 収穫時期別の糖度 (Brix°) 2019年

■異なる果皮色の香りの違いを解明

「虹の雫」の4つの果皮色別の果房（緑、黄～薄ピンク、紅、赤）を用いて、ブドウのCharm Analysis® 分析により得られた結果からそれぞれの香りの特徴を図示しました。その結果、「虹の雫」の香りは果皮色ごとに特色ある香りがあることが分かりました。

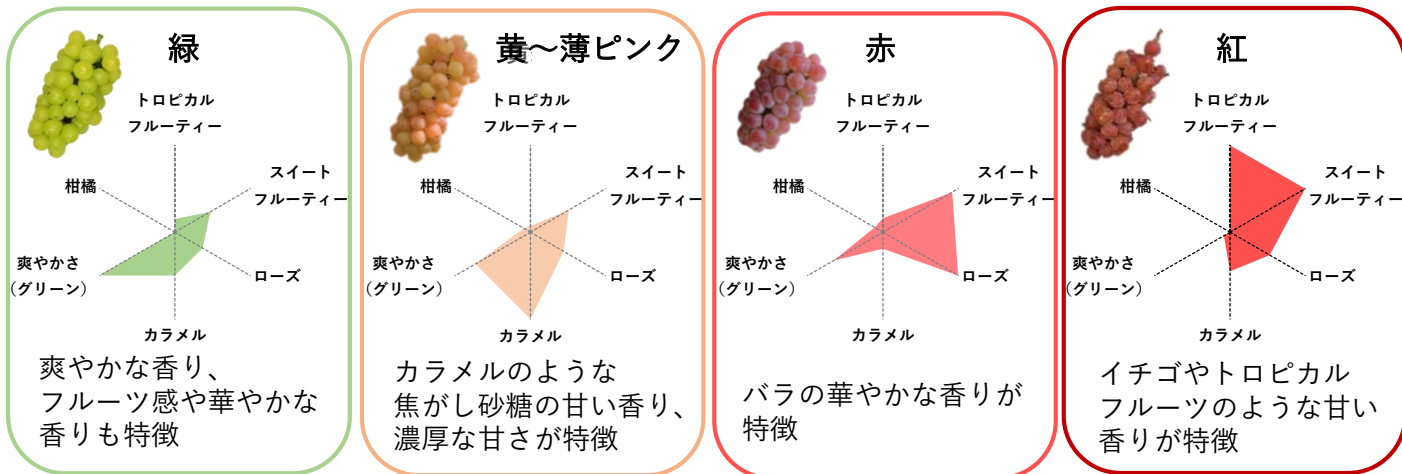


図3 果皮色別の香りの特徴 (グラフはCharm Valueを品種間比較したときの相対値)

これらの特徴を活かして、「虹の雫」のブランド化を推進します。